

# 令和4年度 学校評価の概要

## 1 学校評価の方法

今年度は、中間評価（7月）と最終評価（12回、学校評価を行う。

学校評価委員会で評価項目と質問事項等を検討し職員会議で職員に周知を図った後、アンケート用紙を職員に配付し、回答を集約・分析して達成度を自己評価する。また、具体的な課題・改善策等を記入する自由記述欄を設けた。

さらに、保護者アンケートを行い、職員による自己評価の参考とするとともに、「意見・要望」を記入する自由記述欄を設け保護者の意見・要望等を把握する。

## 2 学校評価の集計・分析方法

(1) 学校経営の努力点をもとに設定した各質問事項の達成度評価に、以下の配点をして平均点及び評価ごとの割合を算出した。なお平均点の算出に当たっては、質問事項ごとの有効回答者数で計算した（保護者も同様の方法で算出した。（ ）内は保護者の評価観点）。

<input type="radio"/> 十分達成できている（十分実践されている。十分当てはまる）	… 4点
<input type="radio"/> おおむね達成できている（おおむね実践されている。ほぼ当てはまる。）	… 3点
<input type="radio"/> やや不十分である（あまり実践されていない。あまり当てはまらない。）	… 2点
<input type="radio"/> 不十分である（実践されていない。当てはまらない。）	… 1点

(2) 自己評価・保護者アンケートの自由記述欄への記入事項を集約し、評価の参考とした。

(3) 年度末に最終の学校評価を行い、今年度の最終評価、中間評価との比較及び次年度に向けての課題を検討する。

## 3 学校評価の結果から（別紙「集計結果」等参照）

(1) アンケートの回収率

職員	中間	100%（44人中44人）
	最終	100%（43人中43人）

保護者	中間	84.8%（46人中39人）
	最終	80.4%（46人中37人）

(2) 保護者アンケートの平均点と回収率

全ての項目において3点以上と全体的に高い評価をいただいた。回収率は80%（中間、最終とも）を超えている。

(3) 保護者アンケート（最終評価）

ア 「十分実践されている。十分当てはまる」「おおむね実践されている。ほぼ当てはまる。」の割合が100%の項目(12項目)

- ・『1（教師は人権を大切にし、言葉遣いや対応は、丁寧で適切である。）』
- ・『2（教師は子供のことをよく理解し、適切に対応している。）』
- ・『4（学校は、安全な二次調理や、丁寧な摂食指導を行っている。）』
- ・『5（学校は、防火防災への備えをしている。）』
- ・『6（学校は、校舎改築工事の状況に応じた適切な教育環境づくりをしているか。）』
- ・『7（学校は、夢支援シートや個別の教育支援計画、個別の指導計画等の説明をし、児童生徒、保護者と目標を共有している。）』
- ・『8（子どもの実態や課題に応じた授業が行われている。）』
- ・『10（社会参加と自立に向けて、小・中・高一貫した教育を行っている）』
- ・『12（学校は、学校間交流および居住地校交流に積極的に取り組んでいる。）』
- ・『14（授業参加やPTA等が適時に開催され、その内容の充実に努めている。）』
- ・『15（子供は、毎日楽しく登校している。）』
- ・『16（子供の成長を感じる。）』

#### イ 中間評価と比較して平均点が向上した項目

ほとんどの項目で中間評価より平均点が向上した。学校の教育活動が丁寧に説明され実施できている。記述では、保護者から「いつも我が子を大切にしてください感謝していますありがとうございます。」などの評価をいただいた。

#### ウ 「あまり実践されていない。あまり当てはまらない。」「実践されていない。当てはまらない」の評価をいただいた項目

- ・『3（学校は、感染症への正しい認識を啓発し、その対策を行っている。）』
- ・『9（タブレット端末などの機器や、多様な機材等を活用した授業が行われている。）』
- ・『11（進路に関する情報や福祉サービスの情報などを提供している。）』
- ・『13（学校は、ホームページ（ブログ）の充実活用などによる教育活動の発信や関係学校・機関への支援により、特別支援教育の理解啓発に努めている。）』

ブログの更新や長期休業中のタブレット持ち帰りなどの要望が上がった。

#### (4) 職員による自己評価（最終評価）

##### ア 平均点が0.1以上上昇した項目(9項目)

- ・『2（学校は、全職員によるテーマ研修の推進とICTを活用した授業実践を行っているか。）』
- ・『3（学校は、不祥事の根絶や服務規律の厳正確保への取組を行っているか。）』
- ・『9（学校は、アレルギーや誤嚥等に留意した摂食指導や安全な二次調理等を行っているか。）』
- ・『13（学校は、学習評価の工夫をし、指導と評価の一体化の検討に努めているか。）』
- ・『15（学校は、一人一授業を通じた研修の充実と指導力の向上に努めているか。）』
- ・『19（学校は、学校間交流および居住地校交流の充実に努めているか。）』
- ・『20（学校は、ホームページ（ブログ）や正門掲示板等の積極的・効果的な活用による教育活動の発信に努めているか。）』
- ・『21（学校は、巡回相談やひまわり相談室等の相談業務や情報発信・研修機会の充実に努めているか。）』
- ・『22（学校は、感染症対策を踏まえた授業参観やPTA等の実施に向けて活動内容の工夫に努めているか。）』

##### イ 平均点が3点以下となった項目（なし）

- ・全ての項目で3点以上となった

### 令和4年度 学校評価（保護者アンケート）の考察

#### 1 最終評価を終えての成果

・教師の生徒に対する言葉遣いについての課題を係を中心に職員全員で解決しようと努めた。なかでも、人権週間での「怒りと悲しみ」のアクティビティの実践研修や、お互いの良いところを認め合う「ひまわりの花」の取組が評価された。

・『4（学校は、安全な二次調理や、丁寧な摂食指導を行っている。）』，『15（子供は、毎日楽しく登校している。）』，『16（子供の成長を感じる。）』の項目は特に3.8以上の高い評価をいただいた。自由記述でも「いつも我が子を大切にしてください感謝しています。ありがとうございます。」と言った意見もいただいた。

#### 2 最終評価を終えての課題

・ブログの更新については前年度よりも早く更新することができたが、まだ不十分との意見も合った。更に良いものとなるよう改善をしていく。

・PTA会長・役員を選出方法について、保護者の意向を把握するためのアンケートを作成中。アンケート結果を基に、3月の理事会で検討する。

## 令和4年度 学校評価（職員による自己評価アンケート）の考察

### 1 中間、最終評価の平均点の比較

- ・ 22項目中上昇した項目は18、下降した項目は3、変わらず1であった。

### 2 中間・最終評価を終えての成果（自由記述を含む）

- ・ ブログの更新頻度と担当学級を決め役割が明確になった。また、校門の掲示板についても改善が図られている。
- ・ 評価の例を示し、目標設定や評価の方法が改善された。「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の書式についてアンケートを実施し新書式を提案する。（2/13の年度末反省報告会）
- ・ テーマ研修についてアンケートを取り、1グループ2授業でICTの活用方法や授業への生かし方など良い研修ができた。
- ・ 前年度の課題を元に進路指導係で施設説明会を実施した。
- ・ 中間評価の課題であった裏門の施錠を実施した。

### 3 中間・最終評価を終えての課題（自由記述を含む）

- ・ PTA会長・役員の選出方法について、保護者の意向を把握するためのアンケートを作成中。アンケート結果を基に、3月の理事会で検討する。
- ・ 高等部卒業後に対して、小・中学部の職員・保護者・児童生徒がイメージしにくい。小中学部の職員向けに研修ができないかといった意見に対して研修を計画する。
- ・ 校務用フォルダが使いにくいことについて、フォルダを年度末に向けて整理する予定。（案）を作成して運用する。